

## 8月の都内経済状況

営業開発部

項目	天気図	コメント	
現在の景気動向		8月の都内の景気は緩やかに回復しているが、弱い動きも散見される。百貨店、スーパーの売上は減少し、コンビニエンスストアの売上は増加した。乗用車販売は2ヵ月ぶりに前年を上回った。住宅着工は7ヵ月ぶりに減少し、公共投資は3ヵ月連続で増加した。輸出は10ヵ月連続で前年を下回った。有効求人倍率は高水準ながら2ヵ月連続で低下した。工業生産(7月)は2ヵ月ぶりに前月から減少した。28年度上期の設備投資計画は増加見込みだが、同期の経常利益は減益見込み。	
今後の見通し(3ヵ月)		都内の景気は弱い動きも散見されるが、引き続き緩やかな回復が期待される。中国など新興国の景気下振れや金融資本市場の変動、イギリスのEU離脱決定の影響などが今後のリスク要因となっている。	
個人消費費	百貨店売上高		百貨店売上高は、前年同月比▲6.1%と2ヵ月ぶりに前年を下回った(既存店ベース)。台風の影響や休日が前年より1日少なかったことなどから、入店客数が前年を下回り、秋冬物の立ち上がりも鈍かった。主力の衣料品の他、身のまわり品、雑貨、食料品も前年を下回った。化粧品は増加基調を維持したが、美術・宝飾・貴金属は株価の低迷などを背景に大幅な減少が続いている。
	スーパー売上高		スーパーの売上高は、前年同月比▲4.1%と4ヵ月連続で前年を下回り、減少幅も前月から4.0ポイント拡大した(既存店ベース)。主力の食料品に加えて、衣料品、住関連品も前年を下回った。
	コンビニ売上(関東)		関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比2.0%増と42ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から0.5ポイント縮小した(全店ベース)。増加幅の縮小は2ヵ月連続。
	乗用車登録台数		乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比2.5%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。車種別では、軽乗用車(同▲16.1%)は20ヵ月連続で前年を下回ったが、普通車(同7.4%増)と小型車(同4.8%増)は2ヵ月ぶりに前年を上回った。
住宅建設		住宅着工戸数は、前年同月比▲6.6%と7ヵ月ぶりに前年を下回った。利用関係別では、持家(同1.0%増)、分譲一戸建て(同9.9%増)、貸家(同12.1%増)は増加したが、分譲マンション(同▲49.3%)が大幅に減少した。	
公共投資		公共工事請負金額は、前年同月比25.7%増と3ヵ月連続で前年を上回った。発注者別では、独立行政法人(同▲28.3%)、東京都(同▲8.5%)は減少したが、国(同133.1%増)、市区町村(同18.0%増)、地方公社(同334.8%増)が増加した。	
貿易(東京税関管内)		東京税関管内の輸出額は前年同月比▲2.6%と10ヵ月連続で前年を下回った。主要地域別では、EU向け(同6.9%増)は増加したが、アメリカ向け(同▲20.5%)、中国向け(同▲6.0%)、アジアNIEs向け(同▲1.2%)、ASEAN向け(同▲8.0%)がいずれも減少した。	
設備投資(法人企業)		東京財務事務所「法人企業景気予測調査(7~9月期調査)」によると、都内の法人企業(資本金1千万円以上)の28年度上期の設備投資計画額は、全産業が前年同期比14.7%増、製造業が同23.8%増、非製造業が同10.6%増と、いずれも増加見込みとなっている。	
企業収益(法人企業)		同上調査によると、都内の法人企業(同上)の28年度上期の経常損益は、全産業が前年同期比▲13.0%、製造業が同▲28.2%、非製造業が同▲4.6%と、いずれも減益見込みとなっている。	
労働需給		有効求人倍率(季調値)は2.01倍と引き続き高水準ながら、前月から0.03ポイント低下した。有効求人倍率の低下は2ヵ月連続。先行指標とされる新規求人数は前年同月比5.4%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。南関東の完全失業率は3.0%で、前月から0.2ポイント低下した。	
企業倒産		企業倒産件数は前年同月比16.9%増と3ヵ月ぶりに前年を上回ったが、負債総額は同▲11.2%と3ヵ月連続で前年を下回った。1~8月累計の倒産件数を業種別にみると、全体が前年同期比▲5.3%で、小売業(同28.3%増)、飲食店・宿泊業(同12.7%増)、不動産業(同8.9%増)などが増加し、卸売業(同▲4.5%)、サービス業(同▲9.1%)、情報通信業(同▲17.3%)、建設業(同▲8.9%)、製造業(同▲32.9%)などが減少した。	
資金需要(銀行)		銀行の都内向け貸出残高は前年同月比2.0%増と60ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から0.1ポイント縮小した。増加幅の縮小は4ヵ月連続。	

工業生産指数(季調値) ( )は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ( )は前年同月比%	消費者物価指数 ( )は前年同月比%	(一〇メモ) 東京は総人口の4.3人に1人が高齢者 東京都の推計によると、今年9月15日現在の都内の高齢者(65歳以上)人口は、301万2千人となり、初めて300万人を超えた。対前年比では4万8千人(1.6%)の増加で、総人口に占める高齢者の割合は23.1%。また、75歳以上は147万1千人で、同5万4千人(3.8%)の増加となった。
5月 93.6 (▲2.9)	5月 109.2 (▲1.8)	6月 99.8 (▲0.4)	
6月 94.3 (▲4.9)	6月 123.5 ( 3.5)	7月 99.5 (▲0.4)	
7月 93.9 (▲6.5)	7月 113.6 ( 2.6)	8月 99.6 (▲0.5)	

\*工業生産指数・在庫指数は2010年平均=100、消費者物価指数は2015年平均=100。\*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
		晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨